

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-506290 (P2005-506290A)

【公表日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報 2005-009

【出願番号】特願 2002-570969 (P2002-570969)

【国際特許分類第 7 版】

C 07 D 277/20

A 61 K 31/425

A 61 K 31/427

A 61 K 31/4439

A 61 P 35/00

A 61 P 35/02

C 07 D 277/34

C 07 D 277/36

C 07 D 417/06

C 07 D 417/10

C 07 D 417/14

C 07 F 7/18

【F I】

C 07 D 277/34

A 61 K 31/425

A 61 K 31/427

A 61 K 31/4439

A 61 P 35/00

A 61 P 35/02

C 07 D 417/06

C 07 D 417/10

C 07 D 417/14

C 07 F 7/18

U

C 07 D 277/36

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 7 日 (2005.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

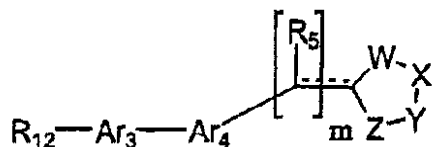
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の式の化合物：

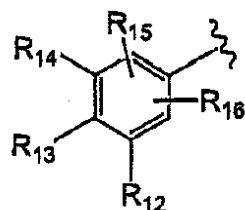
【化 1】



、またはその薬学的に受容可能な塩であって、ここで：

(a) Ar_3 は、以下の式：

【化2】



を有する芳香族環残基であり、ここで、

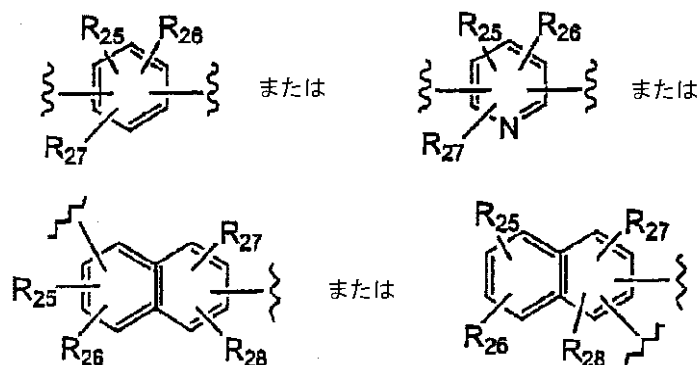
(i) R_{12} は、6～18個の炭素原子を含む、アルキル残基または置換アルキル残基；あるいは5～18個の炭素原子を含む、シクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環、置換複素環、ヘテロアリール、置換ヘテロアリール、アリールまたは置換アリールの残基であり、そして、

(ii) R_{13} は、アルコキシ、置換アルコキシ、またはヒドロキシル残基であるか、あるいは R_{13} および R_{14} が一緒になって、アルキレン-ジオキシ置換基の環を形成し；そして、

(iii) R_{14} 、 R_{15} および R_{16} は、独立して、水素、ヒドロキシル、アミノ残基；6～18個の炭素原子を含む、アルキル残基または置換アルキル残基；あるいは5～18個の炭素原子を含む、アルケニル、置換アルケニル、アルキニル、置換アルキニル、シクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環、置換複素環、アルコキシ、置換アルコキシ、アシル、一置換アミノ、二置換アミノ、カルボキシ、カルボアルコキシ、ニトリル、アルキルカルボキサミド、置換アルキルカルボキサミド、ジアルキルカルボキサミド、置換ジアルキルカルボキサミド、ハロアルコキシ、トリオルガノシリルオキシ、ヘテロアリール、置換ヘテロアリール、アリールまたは置換アリールの残基から選択されるか、あるいは、 R_{13} 、 R_{14} 、 R_{15} および R_{16} のうちの2つが一緒になって、アルキレン-ジオキシ置換基の環を形成し；

(b) Ar_4 が、以下の式：

【化3】



を有し、ここで、 R_{25} 、 R_{26} 、 R_{27} および R_{28} は、独立してかまたは一緒になって、水素、アルキル、置換アルキル、アルケニル、置換アルケニル、アルキニル、置換アルキニル、シクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環、置換複素環、アルコキシ、置換アルコキシ、ヒドロキシル、アシル、アミノ、一置換アミノ、二置換アミノ、カルボキシ、カルボアルコキシ、アルキルカルボキサミド、置換アルキルカルボキサミド、ジアルキルカルボキサミド、置換ジアルキルカルボキサミド、ハロアルコキシ、ヘテロアリール、置換ヘテロアリール、アリール、置換アリールであり；

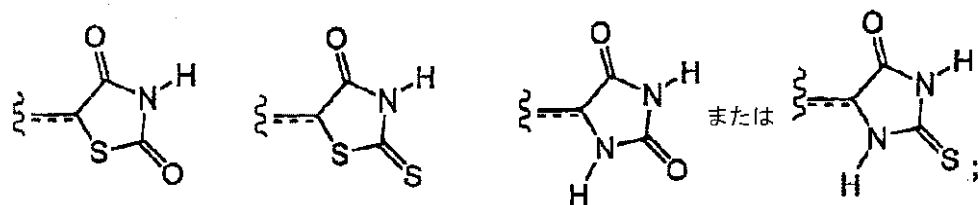
(c) R_5 は、水素であり；

(d) - - - は、結合の存在または非存在を表し；

(e) m は、1の整数であり；そして、

(f) W、X、YおよびZは、以下の式：

【化4】



の残基を形成する、
化合物。

【請求項2】

R_{12} がシクロアルキル、置換シクロアルキル、複素環残基または置換複素環残基である、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

R_{12} がフェニル、2 - ピリジル、3 - ピリジル、4 - ピリジル、1 - アルキルシクロヘキシル、またはアダマンチルの残基である、請求項1に記載の化合物。

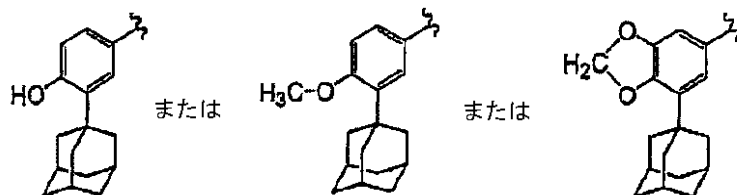
【請求項4】

R_{12} が2 - ピリジル、3 - ピリジル、4 - ピリジル、1 - メチルシクロヘキシル、またはアダマンチルの残基である、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

Ar_3 が、以下の構造：

【化5】



を有する、請求項1に記載の化合物。

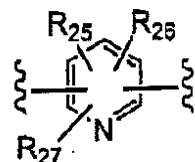
【請求項6】

Ar_4 および R_{25} 、 R_{26} 、 R_{27} および / または R_{28} は、一緒になって、6 ~ 12 個の炭素原子を含む、請求項1に記載の化合物。

【請求項7】

Ar_4 は、以下の構造：

【化6】

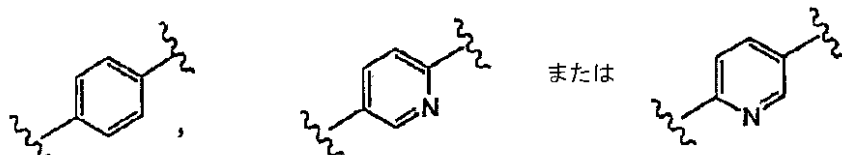


を有し、ここで R_{25} 、 R_{26} 、 R_{27} および / または R_{28} は、一緒になって、6 ~ 12 個の炭素原子を含む、請求項1に記載の化合物。

【請求項8】

Ar_4 は、以下の構造：

【化7】

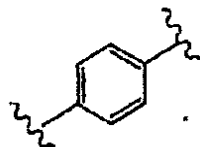


を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 9】

Ar_4 は、以下の構造：

【化 8】

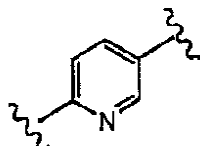


を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 10】

Ar_4 は、以下の構造：

【化 9】

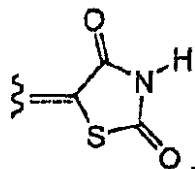


を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 11】

W、X、Y および Z は、以下の式：

【化 10】



の残基を形成する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 12】

式 6 - [3 - (1 - アダマンチル) - 4 - ヒドロキシ - フェニル] - ピリジン - 3 - イルメチレン] - チアゾリジン - 2 , 4 - ジオンまたはその薬学的に受容可能な塩の化合物。

【請求項 13】

請求項 1 または 12 に記載の化合物のうちの 1 以上、またやその薬学的に受容可能な塩、および 1 以上の薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 14】

哺乳動物における 1 つ以上の癌を処置するのに適切な、請求項 13 に記載の薬学的組成物。

【請求項 15】

前記癌が、ホジキン病、骨髄性白血病、多発性嚢胞腎疾患、膀胱癌、脳の癌、頭頸部癌、腎臓癌、肺癌、骨髄腫、神経芽細胞腫 / 神経膠芽細胞腫、卵巣癌、膵臓癌、前立腺癌、皮膚癌、肝臓癌、黒色腫、結腸癌、子宮頸癌、乳癌、上皮癌、および白血病である、請求項 14 に記載の薬学的組成物。

【請求項 16】

前記癌が乳癌、膵臓癌、または結腸癌である、請求項 14 に記載の薬学的組成物。

【請求項 17】

前記哺乳動物がヒトである、請求項 16 に記載の薬学的組成物。